



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

KANAZAWA YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN 920-0998

<http://www.ys-chubu.jp/saigaways/>

国際会長主題	「全ての世界に出て行こう」 “Go Ye Into All the world”
スローガン	「エクステンション、エクステンション、エクステンション」 “Extension, Extension, Extension”
アジア地域会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」 “Start Future Now”
スローガン	「ひとつのアジア、世界はひとつ」 “One Asia One World”
西日本区理事主題	「志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう。」
スローガン	「経験がワイズを育みます」
中部部長主題	「長所を活かして生き生きと！」
金沢犀川クラブ会長主題	「活力に満ちたライフを！」 “Vitalize Our Lives at the Y's Men's Club !”
会長：澤瀬 諭，副会長・会計：川村孝治，書記・直前会長：北 肇夫	

今月の聖句：わたしたち強い者は、強くない者の弱さを担うべきであり、自分の満足を求めるべきではありません。おのおの善を行って隣人を喜ばせ、互いの向上に努めるべきです。

ローマの信徒への手紙 15 章 1 節～2 節

2013年12月強調月間

ワイズデーでワイズメンズクラブのPR活動を！

加藤 信一 広報事業主任（京都トップスクラブ）

<p>☆☆☆12月第一例会案内☆☆☆</p> <p>金沢・金沢犀川クラブ合同クリスマス特別例会</p> <p>日 時：12月19日(木)18:30～20:30</p> <p>会 場：金沢ニューグランドホテル</p> <p>会 費：4000円（別途、500円程度のプレゼントをご用意ください）</p> <p>準 備：竹中君</p> <p>***プログラム***</p> <p>司 会：山内ミハルさん</p> <p>開会・点鐘：幸正一誠会長</p> <p>ワイズソング：一同</p> <p>今月の聖句：司会者</p> <p>ハッピーバステイ：幸正一誠会長 北 佳子(3日)・竹中丈晴君(5日)</p> <p>讃美のとき：山内ミハルさん</p> <p>メッセージ：北陸学院院長 楠本史郎氏</p> <p>食前の感謝：澁谷洋太郎君</p> <p>— 会食 —</p> <p>親睦のとき：メネット会</p> <p>ニコニコタイム：川村孝治君</p> <p>YMCAの歌：一同</p> <p>閉会・点鐘：澤瀬 諭 会長</p> <p>*例会に使用済み切手をご持参ください</p>	<p>☆☆☆11月例会報告☆☆☆</p> <p>[第一例会]11月14日(木)19:00～21:00、金沢白鳥路ホテル、米田志津子氏卓話「継がれてきた銭五の精神」、参加者：川村君・北君・澤瀬君・竹中君・平口君・三谷君、影山雅一氏(元・金沢クラブ)、宇野晃氏、森永壽久氏、以上10名。[第二例会]11月28日(木)19:00～21:00、金沢YMCA集会室、参加者：北君・澤瀬君・平口君・三谷君。</p> <p>中部 EMC セミナー 1月18日(土)13:30～16:30、名古屋YMCA。これに先立ち13:00から西日本区大会実行委員会を開催、YMCAへの剰余金贈呈式を挙行。参加予定者：川村・北・澤瀬・平口。</p> <p>今月の聖句について 信徒宛ての手紙であるから、その脈絡で読み解かれなければならないが、「イエス・キリストの教え」に基づき活動するクラブにも通用する聖句である。この箇所という「強い者」とは、キリスト教信仰によって強められた者を意味するが、クラブに当てはめればワイズ精神によって強められた者と見なしてよいだろう。(平口哲夫)</p> <p>1月の当番 司会：竹中君、準備：平口君 《金沢YMCAのホームページ》 http://www.ys-chubu.jp/kanazawaymca/</p>
--	---

当クラブ	11月出席者	10月出席率	BFポイント	ニコニコタイム
正会員 5名	メ ン 6名	100%	前月繰越切手 2,474g	前月累計 28,600円
広義会員 0名	メネット 0名		11月分切手 6g	11月分 11,340円
功労会員 1名	ビジター 0名	メーキャップ 0名	今年度累計	
	ゲスト 4名		切手 2,480g	
			現金 0円	
合計 6名	10名	100%		累計 39,940円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 11月第一例会報告 ◆

川村 孝治

11月第一例会は、「継がれてきた錢五の精神」と題して石川県錢屋五兵衛記念館の米田志津子氏に卓話をいただいた。“加賀の百万石”に対して“海の百万石”と称される錢屋五兵衛は、全国に支店38ヶ所、持ち船100艘ほどを持った加賀藩の御用商人であった。寂れた金石の町に、かつてこれ程の豪商がいて栄えていたとは、現代では想像がつかない。晩年に起きた河北潟疑獄事件により80歳で獄中にて亡くなった後に、錢屋家はお咎めなしとなった。明治時代に入り、国民に海外渡航を推進する国策により先駆者・開拓者として錢五の評価は180度転換した。錢五のご子孫から直に話を伺うとは思わなかった。



◆ ながまち ふれあい フェスティバル 報告 ◆

Yサ・ユース委員長 澤瀬 諭

11月10日(日)「秋風にとどけ、笑顔のながまちフェスタ！」のローガンのもと、恒例の“ながまちふれあいフェスティバル”に金沢YMCA(金沢クラブ・金沢犀川ワイズメンズ合同)として参加しました。パネル展示で日頃の活動を市民の方々に広報活動をさせていただき、本年は新しい試みとして障害福祉サービスひろびろ作業所の手作りクッキーの販売もさせていただきました。あいにくの荒天のなか訪れた市民の皆様へ心から感謝申し上げます。

◆ 西日本区第2回役員会に参加して ◆

中部部長 平口 哲夫

西日本区の2013～2014年度第2回次期役員会は、11月16日(日)13:00から二日間にわたりホテルクライトン新大阪で開催。ホテル前で会った四日市クラブ若松・大西両ワイズと一緒に近くのレストランで昼食。

お二人は、6月に名古屋で開催された西日本区大会の剰余金93万8,045円をYMCAに献金(日本YMCA20万円、名古屋YMCA20万円、金沢YMCA20万円、三重YMCA33万8,045円)という提案(第3号議案)のために参加なさいました。議案は9号まで、協議事項は3号までありましたが、特にお知らせしておきたいのは、第5号議案で次々期理事候補として遠藤通寛ワイズ(阪和部大阪泉北クラブ)の指名が承認されたことです。



夕食・懇親会の席で、西日本区事業主任一同名による「皆勤賞」なるものを頂戴しました。文面は「貴方は雨にも負けず、風にも負けず、平成25年度ワイズメンズクラブ国際協会西日本区における九部会全制覇されたことをここに賞します。」です。

二日目早朝の聖日礼拝では、感謝献金の祈りを担当。「長所を活かして生き生きと！」という部長主題を掲げて就任したのに、苦手なお祈りの当番とは！部長報告では、メネット関係についてはクラブや家庭の事情に配慮し、多様性を尊重していただきたい旨、要望しておきました。

◆ 津クラブの部長公式訪問例会に参加して ◆

中部書記 北 肇夫

11月21日(木)、津クラブの部長公式訪問例会には、澤瀬会長・三谷・北の3名が同行した。澤瀬会長の愛車に同乗、途中の沿道や名神高速・伊吹PAの見事な紅葉が日の保養となった。名神高速・関ヶ原ICで高速道を出て、関ヶ原IC～四日市IC間は一般国道を走行、四日市ICで東名阪道に乗り継ぎ、伊勢道・津ICで高速道を離れ、JR津駅前の会場“アスト津”に近いホテルに余裕をもって無事到着した。

例会は、会員・元会員・若手リーダーたち14名の出席のもと、定刻の18:30に開始。平口部長による卓話「韓国盤亀台岩刻画と熊野捕鯨伝説」は、パワーポイントを用い、地元との関連性を折り込んでの話だった。

例会後、会場を変えて有志による懇親の場を設けていただいた。興味を惹いた話題のひとつに、クラブ規模が同じでありながら、津クラブではワイズポテトなどの今年の販売実績が約170箱、クラブファント用の収益は5万円近くだったということがある。安定した顧客と信頼関係に裏打ちされているという点が今後の取り組みの参考となった。



(アスト津4F第2会議室にて)

例会翌日の帰路、東名阪道・四日市ICから国道477号の途中、湯の山温泉にて鈴鹿山脈の最高峰・御在所岳(海拔1,212m)にロープウェイで登頂、琵琶湖と伊勢湾の眺望と紅葉を楽しんだ。その後国道477号、



(御在所山頂にて)

(旧・鈴鹿スカイライン)を経由し、滋賀県の名刹・永源寺へ立ち寄り、見事な紅葉を楽しんだ。午前中、東名阪道での交通渋滞で予定より2時間遅れの20:00前後に帰宅。充実した二日間であった。